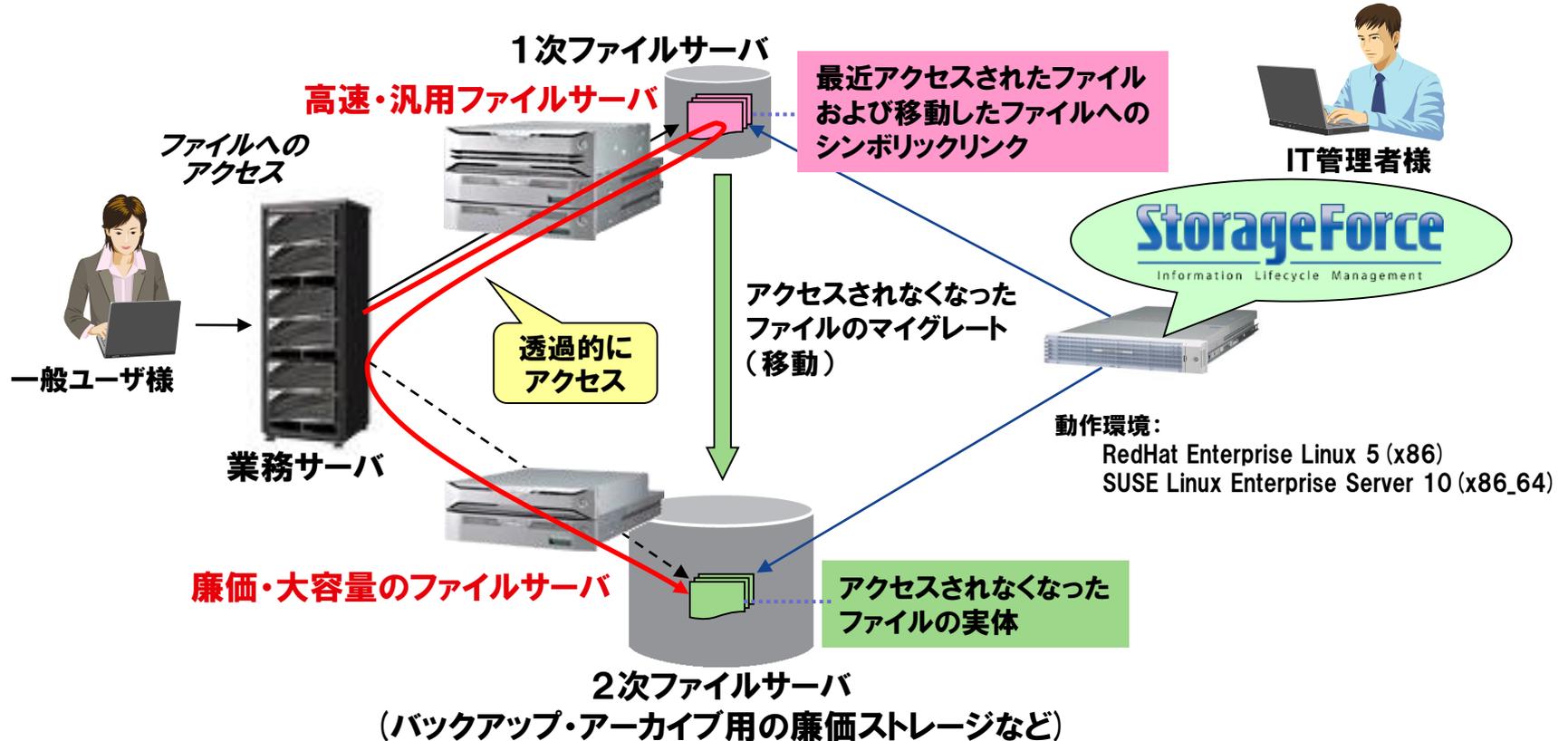


StorageForceの概要

StorageForceは、高速・汎用ファイルサーバ(1次ファイルサーバ)にあるファイルを、設定されたポリシーに基づき、廉価・大容量のファイルサーバ(2次ファイルサーバ)へ移動(マイグレーション)します。

利用頻度の高いファイルのアクセス性能を維持し、かつ、利用者からの接続形態を維持したまま、ストレージコストなどを低減することができます。



ISP事業者様やデータハウス事業者様などの企業のコンピューティング環境において、飛躍的に増え続けるファイルやデータをいかに低コストで長期保存すべきかの課題を解決します。

システム導入前

1次ファイルサーバ
(16.5TB) 高速・汎用

ユーザ使用容量 16.5TB
高いI/O性能を要求(RAID10構成)
24時間フル稼働



消費電力

6570W

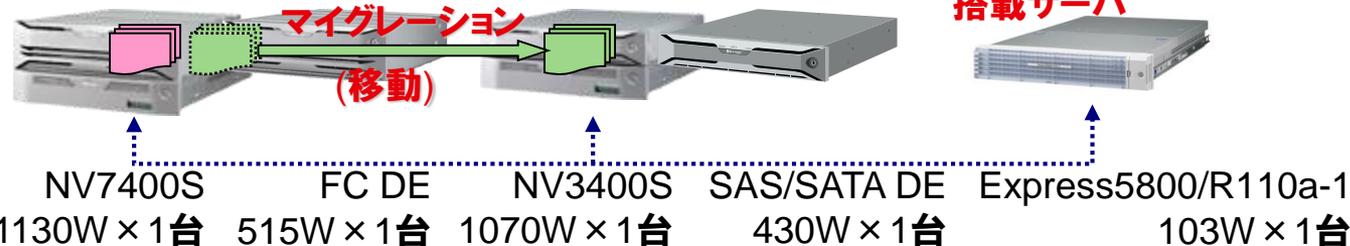
・「アクセス頻度が高い重要なファイル」と「時間の経過とともにアクセスされなくなったファイル」が混在
・データの増加に伴い、常に高性能ストレージの拡張を必要とし、ストレージコストが増加

システム導入後

1次ファイルサーバ
(3.3TB) 高速・汎用

2次ファイルサーバ
(13.2TB) 廉価・大容量

ユーザ使用容量 16.5TB
1次側は高いI/O性能を要求 (RAID10構成)
24時間フル稼働
マイグレーション可能な割合 80%



消費電力

3248W

・「時間の経過とともにアクセスされなくなったファイル」を適切な性能、コストのサーバへ移動
・ディスク格納効率が向上し、ストレージコストおよび消費電力を削減

StorageForceの導入により、消費電力が減少しCO2排出量を約51%削減

